

# 愛川町消防団第二分団 人情火消し

2011年 春号

発行 愛川町消防団第二分団

編集 人情火消し編集委員会



平成二十三年一月八日 消防出初式

## 分団長あいさし

高峰地区の皆様方には、日ごろより第二分団の消防団活動につきまして、格別のご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

消防団とは、消防・防災についての知識の習得や基礎訓練をもとに毎期、先輩が後輩を指導し、団員の入れ替わりを行いながら何十年も地域を守るために活動してきた、地域に根付いた団体であると考えております。社会情勢の変化や雇用形態の多様化が著しい昨今、年々団員の確保が困難になりつつあるなか、地域の皆様方に再度消防団活動についてご理解をいただきたく発刊いたしました「人情火消し」も、早いもので平成一七年の初版から七年目を迎えました。

おかげさまで、今年度も新入団員を迎えることができ、「自分たちの地域は、自分たちで守る」の精神のもとに日々の訓練や消防・防災の広報活動に従事できております。

私たち消防団員は、常備消防ではありませんので、一人一人が違う仕事を持っております。そのため、団員全員が一丸となって規律的に行動をするということは、大変な負荷ではありますが、皆助け合い、励ましあいながら一生懸命消防団活動を行っております。

それは、ひとえに家族や地域の皆様方のお力添えがあつてこそできるものですから、皆様方のためにも、安全・安心の町づくりの一端を担えるように努力してまいります。引き続き変わらぬご支援、ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

愛川町消防団第二分団

分団長 高橋篤史

副分団長 関根和浩

## 第二分団第一部（三増区）



三増区を管轄する第二分団第一部です。高峰地区の皆様におかれましては、日ごろから消防団活動にご理解とご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、第二分団第一部では本年度新入団員として、三増に在住の平本茂樹団員が入団しましたのでご報告申し上げます。

### 新入団員あいさつ

平成二十二年四月一日付けで第二分団第一分に入団いたしました平本でございます。

三月の初旬、諸先輩団員の方から、新入団員勧誘のお話をいただきました。その時、不思議と迷いはなく、次の週には器具舎での説明を聞いていました。

しかし、迷わなかったものの多少の不安がついていたのですが、部長をはじめ、先輩団員の皆様が温かく迎えていただきました。

自分はサービスマンであるがために、訓練や行事に出席することがなかなかできなかったとしても、日々の器械点検等、自分ができるところを可能な範囲で精一杯やってみようと思っております。

まだまだ未熟な新入団員ですが、先輩団員の方々から指導をしていただき、良き仲間と、幼少時より住み慣れた地元地域に微力ながらも貢献していければと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



平本茂樹団員

### 平成二十二年の主な活動

- 四月 性能検査、牛松山ハイキングコースの清掃
  - 五月 牛松山八十八夜祭、ゴミゼロクリーンキャンペーン
  - 六月 団員研修
  - 七月 諏訪神社祭り警戒、育成会盆踊り警戒
  - 八月 団員研修
  - 九月 諏訪神社祭り警戒、防災訓練
  - 十月 三増合戦祭り警戒、消火栓ボックス交換
  - 十一月 秋の火災予防運動
  - 十二月 歳末火災特別警戒、消火器点検
  - 一月 消防出初式、どんど焼き警戒
  - 二月 研修旅行
  - 三月 春の火災予防運動
- そのほか毎月十日、二十日、三十日には、消防機械等の点検を行っています。

## 第二分団第二部（小沢区）



皆さまこんにちは。小沢地域を管轄している第二分団第二部です。

今期から新たにメンバーに加わった二名のコメントと意気込みを聞きました。

### 「消防団員になって…」

#### 篠崎 力也 団員

入団のきっかけは、父が消防団のOBでしたので、幼少の頃から消防団に興味があり、大きくなったら消防団に入りたいと思っていました。

入団した当初は、何も分からなくて、不安もありましたが、先輩方からの的確なご指導により、消防団活動の中でのポンプ等の扱い方が分かってきたところです。

しかし、まだまだ覚えることがたくさんあります。

また、実際の火災では、訓練とは違う独特な雰囲気があり、とても緊張感がありました。

これからも消防団としての自覚を持ち、愛川町・地元地域の方々のために一生懸命頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

#### 森 裕也 団員

一番初めに、消防団へのお誘いの話があった頃は、社会の荒波にもまれ始めた時期でしたので、新たな環境に順応することが第一で、他のことに対して考える余裕がなかったため、残念な返事をせざるを得ませんでした。

環境にも慣れ始めた頃に、再度消防団へのお誘いがあったため、良い機会と思い今度こそは地域のために頑張ってみようと決意し、入団をいたしました。

訓練を通して覚えることがたくさんあり、一つ一つが新たに発見・経験することばかりです。

他の二分団との合同訓練の時も、先輩方からの適切なアドバイスのおかげで、大きなミスもなく行えたと思います。

早く一人前の消防団員として成長し、災害現場等では的確な対応ができるよう頑張っていきたいと思っております。



篠崎力也団員

森裕也団員

## 第二分団第三部（箕輪区）



### 部長あいさつ

箕輪地区を管轄する第二分団第三部です。  
今年度より新体制となり、部長を務めています。有賀純一郎と申します。

箕輪区の皆さまにおいて、日ごろから消防団活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝しております。

「自分たちの町は自分で守る」「自分たちの地域は自分で守る」という熱意を一人一人が持ち、地域住民の生命や財産を守るために活動していますので、今後ともよろしくお願いたします。

今年度より第二分団第三部に入団しました新しい仲間を紹介いたします。これから大いに活躍してもらいたいと思います。

また、今年より子どもサマーキャンプに参加し、子どもたちが消防車に直に触れられる機会をつくりました。そのような日ごろの消防団活動について紹介させていただきます。

### 新入団員紹介

①名前②地区③消防団入団前と入団後のイメージ④どのような消防団員になりたいか⑤何か一言

①諏訪部陽輔②下箕輪③入団前のイメージは、日夜・休日も関係なく消防団活動があり、何かと大変そうだと思っていました。入団してからイメージは、思っていたほどの時間的な拘束はなく、厳しくもあり楽しくもある先輩方の丁寧な助言により、器械器具の操作方法や礼式、消防団活動の意義を学ぶことができ、とても充実しています。④地元地域の誰からも頼りにされるような団員になりたいと思います。⑤入団して一年が過ぎようとしています。まだまだ分からないことは多くありますが、時にはご迷惑をお掛けするかもしれませんが、箕輪区の防火・防災の一助になるよう頑張つてまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



諏訪部陽輔団員



### 活動報告

今年度も、警戒やパトロールといった防火・防災に関する啓発活動はもちろんのこと、箕輪区のどんどんど焼きや子ども神輿、サマーキャンプ等の警戒に従事させていただきました。これからも第二分団第三部の活動にご協力をお願いいたします。

## 第二分団第四部（角田区）



### あいさつ

角田区を管轄する第二分団第四部部長の高橋です。

日ごろより区民の皆様には温かいご声援をいただき、本当にありがとうございます。

今回は、昨年の四月に新たに入団した二人の団員に、消防団の感想や今後の意気込みなどを語ってもらいました。

二人ともまだ二十四歳！これからもどんどん活躍してほしいですね。

### 子ども警戒

第二分団第四部では子どもとのふれあいを大切にし、毎年年末火災特別警戒を、角田区の子どもたちと合同で行っています。澄み切った子どもたちの声と笑顔は、地域を元気づけますね！

### 新入団員紹介

佐藤 圭介 団員

入団して一年が経ちますが、日ごろの訓練やポンプ回しなどを通じて、消防団の活動に少しずつ慣れてきたかと思えます。

様々なことを経験させてもらい、団員の先輩方には感謝しております。

昨夏には大きな火災に出動しましたが、初めての出勤で、とても緊張しました。

日ごろの訓練の重要性を感じるとともに、いざという時に動けるようホースやポンプなどの取り扱いの訓練に励みたいと考えています。

消防団活動は思っていたよりも多岐に渡っており、警戒や地域行事にも参加しているのが、積極的に参加して、少しでも地域を盛り上げることができたらと思います。

伊藤 義斗 団員

私は、今年度入団しましたが、はつきり言つて何をしたら良いのか、どういふことをするのか、まったく分からず入団しましたが、先輩方に消防団活動について分かりやすく丁寧に教えていただき、基礎から学んでいる最中です。

最近では、仕事の都合上、なかなか消防団活動に従事することができず、少し不安ですが、いざという時にはそのようなことは言えないので、できる限り参加するように、また、足手まといにならないように努めていきたいと思っています。



佐藤団員と子どもたち



伊藤義斗団員

# 消防団活動 ～S-KYT～

## S-KYTとは

指導者講習の一环として行われているS-KYTとは、産業界で広く実施され、効果をあげている「危険予知訓練」(KYT)をベースにして、消防団の頭文字「S」を取って、「S-KYT」と称しています。具体的には、

①災害現場活動に従事する消防団員が安全確実に作業を遂行するため

②災害現場活動時の一場面を描いたイラストシートを使って

③その場面に潜む危険と対策を少人数のチームで話し合い、考え合い、理解をする

という、安全衛生を先取るための訓練です。

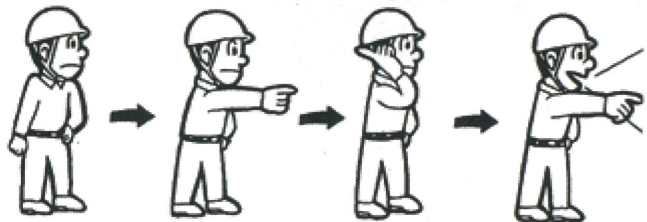
日常でも、これらを実践することにより、何もしない場合に比べて、うっかりの確率が六分の一に減ります。

今回は訓練の一部をご紹介します。



## 指差し呼称

- ① 対象を見る
- ② 指を差し
- ③ 目元へ
- ④ 振り下ろす



- ・呼称項目を「00」と唱えながら
- ・右腕を伸ばし
- ・人差し指で対象を指差し
- ・対象をしっかりと見る
- ・右手を目元まで振り上げながら
- ・本当に良い力を
- ・確認できたら、「ヨシ！」と唱えながら
- ・確認対象に向かって振り下ろす

これは、作業の要所所で行う一人用の動作です。



「ホース金具保持ヨシ！」  
「椅子の押し込みヨシ！」  
これで、各自が安全確認を行うことができます。

左の写真は、指差し唱和という手法の一種で、チーム全員で行うことにより、一体感・連帯感を高める効果もある確認手法です。



★指差し唱和 タッチ型



★指差し唱和 リング型

## 二分団ヨシ!



高橋分団長

## 平成二十二年 第二分団活動報告

- 四月 辞令交付 ボンプ性能検査
  - 五月 団員研修
  - 六月 団員研修
  - 八月 第二分団合同訓練
  - 九月 防災訓練
  - 十一月 秋の火災予防運動  
みねっ子フェスティバル従事
  - 十二月 歳末火災特別警戒  
消防出初式
  - 三月 春の火災予防運動
  - その他 消防器具・水利の定期点検
- ※各自治会等の要請により、各種イベントでの警戒活動等も行っています。



## 新入団員募集中です!

安全・安心な高峰地区を目指して!

第二分団では、現在一緒に活動してくれる団員を募集しています。

「自分たちの地域は自分たちで守る!」  
という趣旨に賛同いただける方、消防団活動やボランティア活動に少しでも興味のある方は、自薦他薦を問いませんのでお気軽に町消防本部(2805-3131)までお問い合わせください。

